

# With

利用者と共に

職員と共に

地域と共に

vol.39



2018.6/1

高森荘からの情報発信 ウィズ

発行所 障害者支援施設 高森荘

〒399-3101 長野県下伊那郡高森町山吹4473-1

TEL.0265-35-6811 FAX.0265-35-6812

E-mail: t356811@takamori.ne.jp

発行者 高森荘施設長 入野友宏



ある日の高森荘

## 生産活動

生産活動は今、行楽シーズンを控えてとても忙しい日々を送っています。特に組子作業については例年に比べ受注量が大幅に増え、多いときには3週間後まで納品・入荷の予定が詰まっています。

ここ数年は作業量が低迷傾向にありましたが、今年に入り新しく3社から作業依頼が入り、この先も活気あふれる作業室になりそうです。

利用者さんの高齢化や、障害の重度化等、難しい現実もありますが、この良い流れに乗り利用者、職員一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。



# 平成29年度 高森荘事業報告

## 1、総合的な援助方針、健康で暮らすについて

体系移行後、施設入所支援と生活介護双方の利用を希望される方に、当施設の運営方針は障害（原疾患）そのものでなく「健康で暮らす」ことにあると説明し理解を求めた。リスクマネジメント基軸の健康優先の方針は、開放的な施設から管理的な施設への転換となる。カンファレンスや現場での直接支援等で反発や反目的な言動が散見される事態となった。しかし時間は要したが、日々の生活を見つめ直すことで先々の病の苦痛が避けられ、自身の利益に繋がると理解して頂けるようになって

## 2、昼間実施サービスについて

今年度も生産活動がメインとなる。ただ長年利用され重責を担った方達が急逝し、介護保険への移行や長期入院等もあり利用率が低下し工賃の総額が減少した。

## 4、非常災害対策について

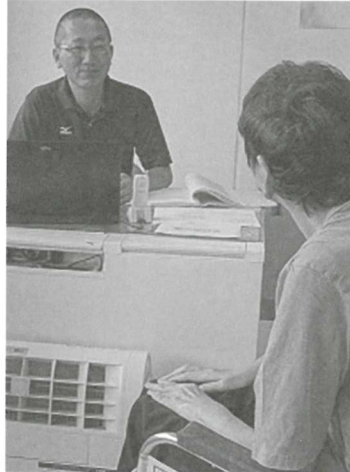
者に委託し独自の支援管理システム構築となった。現場に即応した内容であり記録業務の省力化に有効で、日々の記録確認がルーチン化され情報の共有化に繋がった。

今年度も生産活動がメインとなる。ただ長年利用され重責を担った方達が急逝し、介護保険への移行や長期入院等もあり利用率が低下し工賃の総額が減少した。

## 3、支援管理システム等について

数年前からパソコン活用の記録ソフト導入に取り組んできた。試行錯誤を重ねる中で概要が確立され、支援ソフトを専門業

本年6月水防法等が改正され、洪水等の浸水想定区域（当施設は0.5m未満）内の要配慮者利用施設の管理者に対し、避難確保計画の作成及び避難訓練の実施が義務付けられた。今年度は従来からの火災避難訓練等に加え水害想定避難訓練を3回実施した。



平成29年度 苦情解決の結果	
①職員の接遇に関するもの	0件
②サービスの質・量に関するもの	4件
③事故、被害、損害に関するもの	0件
④事業所運営等に関するもの	0件
⑤契約内容に関するもの	0件
⑥事業所の建物の構造に関するもの	0件
⑦利用者のトラブルに関するもの	0件
⑧その他(物品に関するもの)	4件
合計	8件

## フェンス改修工事

昨年5月の110番直結非常通報装置と防犯カメラ設置に続き、防犯対策設備整備の国庫補助を活用し屋外フェンス改修工事を実施しました。12月7日竣工、高さを上げて頑丈なフェンスに生まれ変わ



ました。お陰様でハード面の防犯対策は当初の目的を果たすことができました。なお、同時期に昨年度末に完了した居室A棟中庭に続きB棟中庭の整備工事も行いました。転倒による衝撃を緩和できればとゴムチップ舗装を採用し藤棚や小さな庭も作りました。利用される方が安心できる居場所の確保に繋がればと願っています。

## 松川中学校奉仕委員会 プランター寄贈

12月15日に松川中学校奉仕委員会様よりプランターを寄贈していただきました。

さっそく利用者さんと一緒にクルメツツジ等の冬に強い苗を植えました。改修工事を終え新しくなった中庭に、春の花々が咲くのが楽しみです。松川中学校の皆さんありがとうございました。





# 音で愉しむコンサート

音で愉しむコンサートは外部の方たちを願っている。このコンサートではなく職員が組み立てるコンサート。利用者さんと職員が日常生活を超えた新しいコミュニケーションを作る場としてこの春に発足しました。

リコーダー、オカリナ、ギター、キーボードなどのように比較的容易に演奏できる楽器を使い、利用者さんも鈴やカスタネット等の小楽器を手に、一緒に演奏できる場を持ちます。

曲は皆さんが良く知っている童謡や唱歌を中心に選び、誰もが音楽を構成する「音」を愉しめる構成を考えています。また、職員は鼻笛（ポカリナ）を導入し、更に盛り上げていきます。



このコンサートを通して、利用者さんと職員が一緒に二つの物を作り上げる喜びや楽しみが共有でき、よりコミュニケーションが図れるようになっていける事が願いです。

基本的に月1回の開催を予定していますが、今までの3回のコンサートの中でも利用者さんの喜ばれる姿が見られ、嬉しい限りです。

翌月のコンサートへのリクエスト曲もいただけるようになりました。今後も皆で作りに上げる「音で愉しむコンサート」を盛り上げていきたいと考えています。

# 虐待防止委員会

虐待防止委員会では、年間を通して利用者さんに対する虐待防止と権利擁護推進について活動してきました。平成29年12月には、障がい者虐待防止・権利擁護研修に参加し、研修内容の伝達として全職員を対象に施設内研修と虐待防止月間としての啓発を行いました。

啓発を通して、改めて虐待と向き合い日々の姿について考えることができました。

職員も人間であり感情があります。その感情とどう向き合い付き合っていくのか？自分自身の特徴を知ること：自己覚知、感情のコントロールそんな点についても皆で確認する良い機会となりました。



# OJT研修 緊急時の対応について

平成29年度、OJTを本格的に開始し合計で16の研修を行ってきました。その二つに、2月に行った「緊急時の対応」という研修があります。

この研修は、リスクマネジメント委員会、最もリスク（不確実性）の高い事例を抽出し、その対応を実際の動きを伴いながら進めるロールプレイ研修で初めて試みました。

内容としては、利用者様が

食事中、窒息状態となり、それを発見した勤務者が吸引、救命処置、緊急搬送、医療機関への説明を各自が役割分担して行っていくものでした。

緊急時には誰もが焦り落ち着いた行動が取れない事が多いかと思えます。今後もういった研修を行う事でよりスムーズな対応が出来るようになるばとを考えています。

# 忘年会

12月13日に忘年会を行いました。

今年「全員が参加して楽しめる忘年会」をテーマに開催し、高森荘では初めて、利用者さんから合唱の余興がありました。

平日、利用者さんが自主的に練習を重ねた歌声を披露してくれ、職員一同感動しました。

1年を振り返るDVDを見ながら、御馳走を食べ、楽しむことが出来ました。





実習・研修の受け入れ

●2月13日～24日／松本短期大学 実習 1名

# 2017年12月～2018年5月行事

紙面の写真・氏名については、利用者、ご家族、職員の同意を得て掲載しております。



利用者保護者交流会



12/3 利用者・保護者交流会

12/6 一日園長

山吹区長 平澤範明 様

12/12 感染症講習会



感染症講習会



春季火災避難訓練

12/20 飯田養護学校カレンダー寄贈

12/25 松川中学校奉仕委員会プランター寄贈

12/27 おやす作り

上平老人クラブ 5名



おやす作り

2/1 節分

龍口老人クラブ 8名

2/22 水害移送訓練

3/2 山吹ふれあい広場

3/7 双葉会交流会

3/19 春季火災避難訓練



一日園長



節分

4/11 行事食 お花見弁当



双葉会交流会



山吹ふれあい広場

## 介護福祉士 合格おめでとう！

- 平成27年度……………4名
- 平成28年度……………2名
- 平成29年度……………1名

福祉系資格保有者

《平成30年6月1日現在》

- 社会福祉士……………6名
  - 介護福祉士……………20名
- ※複数の資格保有者を含む

## 編集後記

高森荘で一番の特色である  
生産活動。

連休前の繁忙期が終わりま  
したが、4月下旬は利用者さ  
んも、職員も、納期に間に合  
うよう必死に作業に取り組み  
ました。

連日、忙しい日々が続いてお  
りましたが、利用者さんは、生  
き生きとした表情で仕事に取  
り組んでおり、一年で最も活気  
が溢れています。

忙しく仕事に取り組める事  
に、取引先企業様に感謝の気  
持ちでいっぱいです。